



衛研ニュース

第4号

川崎市衛生研究所

平成 22 年 7 月発行

業務紹介

水質検査室では・・・

市内の集合住宅やビルなどに設置されている受水槽、船に積まれる船舶水、防災にも重要な井戸水などの飲料水について、水道法に定められた水質基準を基に検査を行っています。飲料水の他にも、神奈川県条例等に基づいてプール水や浴槽水の水質検査も行っています。



受水槽の例（上下水道局HPより）
中に飲料水を貯めています。管理を怠ると中の水が汚染されるので、定期的な清掃と検査が必要です。

プール水の水質検査



さて、7月に入りプール開きの季節がやってきました。学校の開放プールやスポーツクラブだけでなく、市内児童公園のプールなどにも足を運ばれることと思います。

プール水の衛生基準は、厚生労働省局長通知の「遊泳用プール水の衛生基準について」（平成 19 年 5 月 28 日健衛発第 0528003 号）により定められています。項目は、①水素イオン濃度、②濁度、③過マンガン酸カリウム消費量、④遊離残留塩素、⑤大腸菌、⑥一般細菌、⑦総トリハロメタン、です。塩素剤で消毒することにより生成される消毒副生成物のトリハロメタンは平成 13 年 7 月改訂により暫定目標値（おおむね 0.2mg/L 以下が望ましい）として設定されました。



等々カプール（建設緑政局HPより）
建設緑政局からの依頼でこの水質検査もしています。安全・安心なプーライフに貢献しています。

トリハロメタンとは・・・

クロホルム、プロモジクロロメタン、ジプロモクロロメタン、プロモホルムの4種を総称してトリハロメタンと呼んでいます。浄水工程中、原水に含まれるフミン質（植物等の腐敗分解しきれない残りかす）等の有機物と、消毒剤の塩素が反応して生成し、夏場の暑い時期には、検出濃度も高くなる傾向があります。〔水質検査担当〕



トリハロメタンは、「ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC/MS）」で測定します。

夏に流行するウイルス感染症

夏の時期、咽頭結膜熱（いわゆるプール熱）、流行性角結膜炎等が流行します。これらの病気は、「アデノウイルス」によるものとされています。「アデノウイルス」は6種54血清型に分類され、様々な病気の起因ウイルスになります。

川崎市衛生研究所では定点医療機関から搬入された咽頭ぬぐい液や結膜ぬぐい液を検体として、細胞培養によるウイルス分離検査を行っています。



ウイルス分離を行っています

予防と対策

アデノウイルスは薬剤に比較的強いウイルスなので、アルコールでは消毒できません。消毒には次亜塩素酸（塩素系殺菌剤、消毒剤等）が有効です。感染力が強いため、感染した人が使用したタオル等から他の人へ感染します。

家族に眼の炎症がある等、感染が疑われる人がいる場合は、気を付けてください。

現在のところ、ウイルスへの特效薬は無く、対症療法が中心となります。医療機関では迅速診断キットが使われているので早期診断が可能です。

衛生研究所での研究

川崎市衛生研究所ではイムノクロマト*を用いたアデノウイルス迅速診断キットの研究を、8年前から行っており、現在はより感度の高いキットの開発を大学等の研究機関と共同研究しています。〔ウイルス検査担当〕



イムノクロマト迅速診断キット



*『イムノクロマト』とは

免疫反応である特異的抗原抗体反応を利用して、分離、定性、定量を行うもので、感染症等の迅速診断検査の主流技術になっています。また、食品中のアレルギー物質の検出やカビの毒素の検出等にも用いられています。

発行元 川崎市衛生研究所

〒210-0834 川崎市川崎区大島5-13-10

電話 044-244-4985 FAX 044-246-2606

メールアドレス 35eiken@city.kawasaki.jp

HPアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/35/35eiken/main.html>



KAWASAKI CITY
川崎市